

富山大学日本文学研究

第 2 号

[特集] 小川洋子随想教材を読む

- 言葉に潜む死の香り …………… 高 木 佐和子… 1
 ——小川洋子随想教材を読む
- 過去の行為を神聖化させるもの …………… 東 海 義 仁… 3
 ——小川洋子「私の愛するノート」
- 消滅と痕跡…………… 黄 亜 蘭… 7
 ——小川洋子「人と人が出会う手順」
- 自然と数学のロマンの物語 …………… 黒 田 苑… 13
 ——小川洋子「数の不思議に魅せられて」 須 貝 航 太
- 静かに伝承し続ける人々…………… 高 木 佐和子… 19
 ——小川洋子「誰の目にもふれないところで」

[書評]

- 西田谷洋編『あまんきみこの童話を読むⅡ』…………… 團 野 光 晴… 23
 ——ファンタジーの可能性——

[新刊紹介]

- 西田谷洋編
 『女性の語り／語られる女性 日本近現代文学と小川洋子』
 …………… 牧 千 夏… 29
- 紅野謙介・大木志門編
 『21世紀日本文学ガイドブック⑥ 徳田秋聲』…………… 安 井 海 洋… 31
- *
- ポスト・トゥルースとフィクション…………… 西田谷 洋… 33
 ——村上春樹「象の消滅」「TVピープル」「沈黙」
-

2017年7月

富山大学人間発達科学部日本文学会

富山大学人間発達科学部日本文学会会則

第一条 この会は富山大学人間発達科学部日本文学会と称し、

事務局を富山大学人間発達科学部日本文学研究室（富山県富山市五福三一九〇）に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、日本文学研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的の達成のために次の事業を行う。

1 研究発表会、公開講演会などの開催。

2 機関誌などの刊行

3 その他、会の目的の達成に必要なと認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学人間発達科学

部日本文学分野の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもって会員とする。その他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもって会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員及び維持会員で組織する。

編集後記

『富山大学日本文学研究』第二号をお届けする。

本号には二〇一六年度の共同研究の成果として小川洋子随想教材の特集を編んだ。また、会員の単著・共著の新刊紹介・書評等も掲載した。学内外の執筆者に心から感謝申し上げる。

一般に文学研究は国語教育実践を否定しがちであるが、それは教育での定番的な読解が作品の表現の機微、または背景的な文脈を無視することが多いためだろう。一方、文学研究による解釈は教育畑には悪意読みとして捉えられるが、それは批判と悪意を混同していないだろうか。批判的読解とは表現や文脈をふまえ分析的に解釈することである。そうした点で、文学研究と国語教育の溝は互いに乗り越えていく必要があるだろう。

改めて、本誌が、富山大学人間発達科学部国語教育関係者の研究・教育に一層寄与することを願っている。（H・N）

富山大学日本文学研究（第二号）

二〇一七年七月二〇日 印刷

二〇一七年七月三十一日 発行

編集兼発行者 富山大学人間発達科学部日本文学会

発行所 九三〇一八五五五 富山市五福三一九〇

富山大学人間発達科学部西田谷洋研究室

〇七六一四四五―六三〇八

印刷所 五〇一―二五五七

岐阜市三輪おりんとびあ3
株式会社 コームラ
〇五八―二二九―一五八八